

「中世甲斐の人と文化」

1 活用資料・展開例に対応する、学習指導要領中学校社会科の目標と内容

目標(2) 国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした**歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を**、その時代や地域との関連において理解させ、**尊重する態度を育てる。**

(4) 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

内容(3) 中世の日本

ア **武士が台頭し武家政権が成立したこととその後の武家社会の展開を鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、応仁(おうにん)の乱後の社会的な変動を通して理解させるとともに、元寇、日明貿易、琉球の国際的な役割など、その間の東アジア世界とのかかわりに気付かせる。**

イ 農業などの諸産業が発達し、畿内を中心とした都市や農村に自治的な仕組みが生まれたことを理解させるとともに、**武士や民衆の活力を背景にして生み出された新たな文化の特色について考えさせる。**

内容の取り扱い

エ **国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物に対する生徒の興味・関心を育てる指導に努めるとともに、それぞれの人物が果たした役割や生き方などについて時代的背景と関連付けて考察させるようにすること。その際、身近な地域の歴史上の人物を取り上げることに留意すること。**

オ 日本人の生活や生活に根ざした文化については、各時代の政治や社会の動き及び各地域の地理的条件、**身近な地域の歴史とも関連付けて指導するとともに、民俗学などの成果の活用や博物館、郷土資料館などの見学・調査を通じて、生活文化の展開を具体的に学ぶことができるようにすること。**

内容の(3)について

イ イの「農村」については、徳政令、一揆について網羅的な取扱いにならないようにするとともに、それらの内容に深入りしないようにすること。**文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考えさせるようにし、網羅的な取扱いにならないようにすること。**

2 県史アンケート結果と対応する活用資料の項目

・水害・治水 ・地域の発展に尽くした先人の業績 ・**地域に残る文化財** ・甲府空襲
・戦時下の暮らし ・**戦国武田三代** ・**甲斐源氏** ・**身延山と日蓮** ・幕末・維新の山梨
・天保郡内騒動 ・富士川舟運 ・甲府城・城下町

3 内容(3)「中世の日本」に該当する『山梨県史』

中世 通史編2・中世(未刊行) 資料編4・中世1(県内文書) 資料編5・中世2(県外文書) 資料編6・中世3上(県内記録)・中世3下(県外記録) 資料編7・中世4(考古資料) 文化財編 民俗編

4 「中世の日本」活用資料例

学習指導要領該当項目	活用可能資料
(3)-イ	
<p>武士や民衆の活力を背景にして生み出された新たな文化の特色</p> <p>建造物 密教本堂・小形仏堂・禅宗様の仏殿と門</p> <p>神社の本殿と付属建物</p> <p>重要文化財</p> <p>民間信仰、建造物</p> <p>県指定文化財</p> <p>絵画 鎌倉期仏教絵画</p> <p>室町期以降の仏教絵画</p> <p>寺院をめぐる絵画</p> <p>武士をめぐる絵画</p> <p>重要文化財</p> <p>彫刻</p> <p>重要文化財</p> <p>民間信仰、彫刻</p> <p>工芸品</p> <p>庭園</p>	<p>文化財編</p> <p>(建造物) 2 熊野神社本殿 4 観音堂 6 東光寺仏殿</p> <p>7 ~ 9 北口本宮富士浅間神社 10 雲峰寺本堂、仁王門 14 向嶽寺中門</p> <p>15 天神社本殿 16 ~ 24 窪八幡神社 26 山梨岡神社本殿</p> <p>27 中牧神社本殿 28 浅間神社摂社山宮神社本殿 29 最恩寺仏殿</p> <p>30 長谷寺本堂 31 光照寺薬師堂 40 恵林寺四脚門</p> <p>112 加治免石幢 115 千野六地藏幢 116 天澤寺六地藏幢</p> <p>124 三輪神社六地藏幢 125 旧吉祥院八面石幢</p> <p>3 絹本着色釈迦八相図(久遠寺) 14 絹本着色仏涅槃図(大蔵経寺)</p> <p>26 絹本着色三光国師像 27 絹本着色大円禅師像(向嶽寺)</p> <p>35 紙本淡彩陶道明(弘景)聴松図(県立美術館)</p> <p>39 絹本着色武田信虎像(大泉寺) 40 絹本着色武田信虎夫人像(長禅寺)</p> <p>88 絹本墨画松梅図(大泉寺)</p> <p>38 木造金剛力士像(放光寺) 40 銅造阿弥陀如来及両脇侍立像(善光寺)</p> <p>49 木造吉祥天及二天像(福光園寺) 69 木造聖徳太子立像(仁勝寺)</p> <p>71 木造他阿上人真教坐像(称願寺) 77 木造普応国師坐像(棲雲寺)</p> <p>81 木造夢窓国師坐像(古長禅寺)</p> <p>79 地藏菩薩磨崖仏 80 文殊菩薩磨崖仏(棲雲寺)</p> <p>83 石造地藏菩薩立像(塩澤寺) 102 石造地藏菩薩坐像(北野呂地区)</p> <p>1 銅鐘(久遠寺) 6 ~ 8 銅鐘(放光寺、永昌院、向嶽寺)</p> <p>12 鰐口(明王寺) 13 鰐口(大善寺) 25 金桜神社蔵王権現鏡像</p> <p>30 白糸威褱取鎧(美和神社) 35 短刀銘備州長船倫光(恵林寺)</p> <p>53 白紗地九条袈裟(棲雲寺) 54 刺繍十六羅漢像(久遠寺)</p> <p>1 恵林寺庭園 2 向嶽寺庭園 3 棲雲寺庭園 4 東光寺庭園</p>

5 展開例

対象となる時間 学習指導要領 内容(3) 中世の日本 イ(中世文化の広がり)

所要時間 1時間(50分) 特設授業

目標 ○身近な地域の文化財や史料から、鎌倉時代や南北朝時代の地域にかかわりのある人物を知り、その当時の社会とのつながりを調べようとする。(関心・意欲・態度)
(技能表現)

○さらにそれらの人物を中心に、武士の時代を背景とする禅宗の広がり、その影響を受けた中世の文化の特色について理解する。(思考・判断)

	学習の流れ	提示史料	生徒の活動	備考
導入 (5分)	<p>笛川中学校の周辺にある歴史的に重要な文化財(建物や史跡、彫刻など)を振りかえる。普門寺、浄古寺城、小田野城</p> <p>【安田義定について振りかえる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田義定が源氏や甲斐源氏、武田氏とつながりがあること。 ・放光寺梵鐘を安田義定が寄進し、放光寺を建てたこと。 ・鎌倉時代に牧丘周辺は牧庄とよばれ、の中心であり、安田義定がここを拠点としたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財編 P495 ・中世 4 考古資料 P213 浄古寺城, P211 小田野城 ・中世 3 上県内記録 P520 成就院武田系図 ・中世 4 考古資料 P1086 放光寺梵鐘 ・文化財編 P515~522, 534 	<ul style="list-style-type: none"> ・笛川中学校の周辺にある文化財(建物や史跡、彫刻など)を挙げる。 ・3つの文化財に関わりのある共通した人物名を挙げる。 ・安田義定について知っていることを発言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントなる語句をカードにして黒板に掲示 ・周辺地図を掲示 ・資料の提示
展開 (5分)	<p>【夢窓疎石について学習する】</p> <p>その1(授業のテーマをつかむ) 二階堂氏屋敷の史料から、牧庄と安田義定、浄居寺、二階堂道蘊、さらに恵林寺の関係について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中世 4 考古資料 P19 【二階堂屋敷】 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み、質問の答えをワークシートに書く。 ・挙手して答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・ポイントなる語句をカードにして黒板に掲示

<p>展開 (5分)</p>	<p>その2 (夢窓疎石と牧丘との関わり) 二階堂氏屋敷の資料で調べたことを、さらに別の資料から検証する。 ・浄居寺は、牧荘主(二階堂道蘊)が夢窓疎石を招いて建てたこと。 ・恵林寺も同じ人物によって建てられたこと。 ・龍山庵に移り住んだこと。など</p>	<p>・中世3下県外記録 P521</p>	<p>・資料から、夢窓疎石の動きについて、抜き出して、内容を想像する。短冊にその部分を書き、内容を想像して発表する。</p>	<p>・ワークシートに記入する。 ・ポイントなる語句をカードにして黒板に掲示</p>
<p>(10分)</p>	<p>その3 (夢窓疎石の姿) 夢窓疎石の像が恵林寺にあることを知り、さらにそのほかにもあることを知る。</p>	<p>【夢窓国師語録】</p>	<p>・写真を見る。</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(2分)</p>	<p>その4 (夢窓疎石と庭園) 恵林寺にある庭園が国の文化財に指定されていることを知り、そのほかにも夢窓疎石が作ったとされる庭園があることを知る。</p>	<p>・文化財編 P117 写真 【恵林寺四脚門】 ・文化財編</p>	<p>・写真を見る。</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(2分)</p>	<p>その5 (夢窓疎石と清白寺との関わり) 国宝の仏殿がある清白寺は足利尊氏が夢窓国師を招いて立てられたことを知る。</p>	<p>P599,600,606,374 【夢窓国師坐像】</p>	<p>・資料から国の文化財に指定されている5つを確認する。 ・資料を見る。</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(5分)</p>	<p>・清白寺が浄居寺や鎌倉の円覚寺 黄梅院とつながっていること ・恵林寺も清白寺も勧進をしていることを知る。</p>	<p>・文化財編 P833、 写真【恵林寺庭園】</p>	<p>・黄梅院文書が何について書かれているか想像し発表する。</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(2分)</p>	<p>その6 (禅宗様式の仏殿) 禅宗様式の仏殿が、そのほかにもあることを知る。さらに鎌倉円覚寺の舍利殿も同じ形式であることを知る。</p>	<p>・文化財編口絵、P28、「友山録」の七言絶句、 ・中世2上県外文書</p>	<p>・写真を見る。 ・教科書で円覚寺舍利殿をさがす。</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(7分)</p>	<p>その7 (夢窓国師の京都での活躍) 夢窓国師が中央で活躍していることを知る。 ・七朝国師であったこと ・天龍寺の開山であったこと</p>	<p>P587・文化財編 P31 東光寺、p95 最恩寺 ・中世2下県外文書 295 天竜寺文書 ・中世3下県外記録</p>	<p>・資料から、寺院の名前や天皇、人物の名前をさがす。 ・夢窓国師について、業績などをまとめる。(臨済宗の禅僧、多くの寺院や庭園の造園にかかわる、天皇や将軍からも信頼された、など)</p>	<p>・資料の提示</p>
<p>(6分)</p>	<p>その8 (夢窓国師のまとめ) 夢窓国師が当時の社会の中でどのような業績をのこした人物なのか理解する。</p>	<p>P522 夢窓国師語録、p596,p618</p>	<p>・資料の提示</p>	<p>・資料の提示</p>

まとめ (4分)	【学習のまとめをする】 ・ 授業を振り返る。 ・ 身近な地域と鎌倉や京都といった日本の中心との関わりでとらえる。 ・ 身近な文化財や当時の資料から、当時の文化や政治の様子を知ることができることに気づく。		・ 授業の中で学んだことや気づいたこと、感想などを書き、発表する。 ・ 鎌倉や京都中心の中世の文化や政治が、私たちの身近な地域とつながっていることを確認する。	・ ワークシートに学習の成果を書く。
(2分)	(補足)・隣の甲州市には『大善寺本堂』『絹本着色達磨図』(向嶽寺)など、同じころの文化財があり、国宝に指定されている貴重なものであることを知る。	文化財編 口絵写真	・ 資料からそのほかの文化財や当時の歴史について関心をいどく。	

博物館活用 鑑賞・学習型展示：甲斐を行き交う群像 『信仰の足跡』

権力と信仰 祖師と信仰 『甲斐を駆ける武士たち』

三枝守政、一族の栄華を語る 新羅三郎義光と広がる甲斐源氏

伝説の中に生きる武田信玄 『道がつなぐ出会い』 甲斐と外を結ぶ道

人と文物が行き交う道

資料

(展開 その1 二階堂屋敷資料)

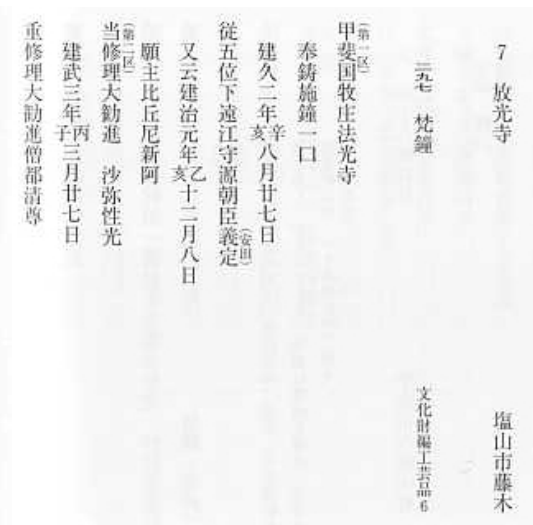
(展開 その2 恵林寺四脚門 および 三門)

(展開 その2 夢窓疎石語録)

文化財編 P686



中世 考古資料 P1086



一一七 夢窓国師語録 大正新脩大藏經

慧林寺釈迦仏安摩結生像 三福山市 笑像

大法元無可不可、円明門百絶関鎖、三賢十聖鏡邊喬、也是空花重結果、恭惟 本師釈迦如来大相高、其慈也至矣、法界含識咸受庇蔭、其德也大哉、無辺虚空莫能包裹、不動寂場赴鹿苑、天魔外道自負随、東徂西播五十年、到处称尊、横説竖説三百会、終無口過、末後拈起一枝花、百万大衆看不破、与麼体裁可謂事起丁寧、没量大人不敢為之陳賀、諸仁者還知我世尊别有箇本分底三昧麼、当軒大坐稍凝觀、迦葉亦只得半座、

化門隆替有因縁、一髮千斤要保全、法雨母憐澗辺鄙、慧林榮茂蔭人天、

天龍開山夢窓正覚心宗普濟国師年譜 （香取郡香取市）
臨川禪寺住持小師妙菴編

弘安元年戊寅
師四歳、母党有事、父孀家而逃入甲斐居焉、
六年癸未
師九歳、父携詣平塩山空阿大徳所固求出家、且言、此兒無處俗態、乃欲燭積、大徳見師氣宇不凡、以為法器、深加愛重、師受梵書、過目成誦、誦必尋釋義理、匪啻勤學積典、乃至孔孟莊老之教、及世間伎芸才能、皆力學習以究其奥、
九年丙戌 （是歲、弘安元年）
師事後母至誠、雖在平塩山寺、旬日一掃省、母亦以真子相待、或調嘉饌餉師、師必招群兒分殮、其後飯師、則必同食群兒、師一日抵隣家、見其家父母兄弟團樂而坐、其狀甚相失、但覺置教人在厨下食飽、其形有不滿之

(展開 その4 恵林寺庭園) 文化財編口絵・P833



恵林寺庭園・園庭名名標

1 恵林寺庭園
三福山市小泉敷 恵林寺
昭和十九年六月二十六日重要文化財指定

恵林寺は臨済宗の寺院で、山号は乾徳山と称している。元徳二年（一三三〇）に夢窓疎石によって開山したが、もとは当地を領する二階堂出羽守（のちに入道して道鑑を名乗る）の邸宅であった。もともと夢窓は弘安元年（二七八）四歳のときに父母とともに一家で伊勢から甲斐に移住し、九歳で市川の白雲山平塩寺にはいり、空阿上人のもとで出家した人である。甲斐への思いは強かったといえよう。

恵林寺開山の三年前、嘉暦二年（一二三二）、夢窓は鎌倉二階堂の永福寺の傍にあった南芳庵から、その年間山した錦屏山瑞泉寺に移っているが、道鑑との交流もそのあたりからあったのである。道鑑に招かれた夢窓は、第二の故郷・甲斐なればこそ、一層心を動かされたのではなかったか。ただこの当時、北条高時が熱心に鎌倉の建長寺、円覚寺に招こうとしたのに対して、夢窓はそれを固辞している。そのような事情も甲斐への道をとらせたのかもしれない。いずれにせよ恵林寺を開くことにはなったが、翌元弘元年（一二三三）には瑞泉寺に戻っている。再び恵林寺に赴くのは一年後の同二年春であったが、翌三年三月にはまた瑞泉寺に戻っている。記録上、夢窓が恵林寺に在住したのはこの二回で、合わせても一年半ほどの期間であった。

その庭園は夢窓作と伝えられて今日にいたっており、昭和十九年に国の名勝に指定され文化財となったときも、その説明の冒頭は、「古来夢窓疎石が創設せるものと伝へらる。疎石は元徳及元弘年間本寺に住せり」というものであった。指定説明は庭の様子を続けて、次のように記している。

庭園は池を中心として作られ、池は心字型に属し、その中央に中島あり、その西北に懸泉あり、前に沢飛を置く。庭園の西北部築では池泉を中心としたいまの形は夢窓以来なのだろうか。基本構想とも呼ぶべきものはそうであったかもしれないが、現状にいたる経緯については恐らく夢窓のはかり知らぬところである。

夢窓の作と伝える庭のうち、現在、国の文化財に指定されているのは五指を数える。永保寺、瑞泉寺、恵林寺、西方寺、天龍寺の庭がそれである。そこに共通するのは環境のよさであろう。瑞泉寺で詠んだ夢窓の和歌、「まつもまたかさなる山のいはりにて 梢につづく庭の白雪」は山頂の徧界一覽亭からの眺めだが、そこから夢窓の姿勢が読みとれるはずである。

またこれらの中には従来あったものを改造して粧を新たにしたものも多く、それも夢窓の庭の一つの特色である。この恵林寺が旧二階堂道鑑邸であったのはいうまでもないが、永保寺は土岐氏の山荘、西方寺は西方寺と織土寺の跡地、天龍寺は龜山離宮跡であることもまた、周知のところである。

(展開 その5 清白寺仏殿)
文化財編口絵

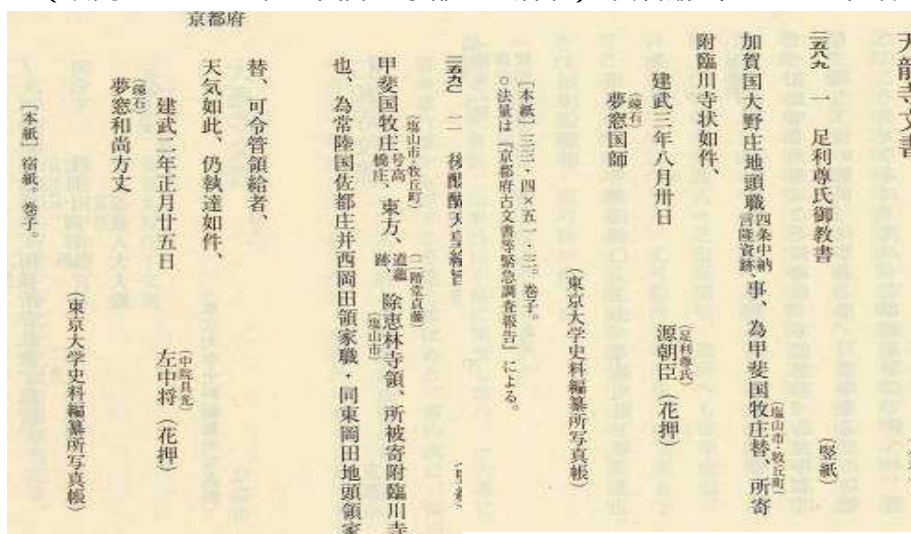


(展開 その6 禅宗様式の仏殿)
文化財編 P32 東光寺仏殿

文化財編 P95 最恩寺仏殿



(展開 その7 夢窓国師の京都での活躍) 資料編 中世2上 県外文書 295



社会科 歴史プリント22 中世の文化 身近な地域の文化財

本時の目標

- ・身近な地域の文化財や史料から、鎌倉時代や南北朝時代の地域にかかわりのある人物を知り、その当時の社会とのつながりを調べようとする。(関心・意欲・態度)(技能表現)
- ・さらにそれらの人物を中心に、武士の時代を背景とする禅宗の広がりや、その影響を受けた中世の文化の特色について理解する。(思考・判断)

その1 (授業のテーマをつかむ)「二階堂氏屋敷」の史料から、わかることを次の項目にしたがって調べよう。

二階堂氏屋敷の現在の場所は？	
それはどのような場所だったか？何の中心だったか？	
ここを拠点としていたのは誰か？ (このあたりで勢力を持って活躍していたのは)	
その後、彼と息子は怎么样了か？	
それはいつか？	
その後、鎌倉時代の末期に地頭としてあらわれるのは誰か？	
彼は、誰を招いて、何という寺を建てたか？	
それはいつか？	
それらのことは、何という文書に書かれているか？	
の人物は、再び誰を招いて、何という寺を建てたか？	
の人物は、その後怎么样了か？彼は、鎌倉時代にどんな役職だったと指摘されているか？	

その2 (夢窓疎石と牧丘との関わり)「二階堂氏屋敷」の史料で調べたことを、「夢窓国師語録」で確かめよう。また、さらにどんなできごとがあったのか、調べてみよう。

年代	史料の文	書かれている内容を想像してみると

その3 (夢窓疎石の姿) 夢窓疎石の像がどこにあるか？またなぜ作られたのか？

その4 (夢窓疎石と庭園) 夢窓疎石が作ったとされる庭園がどこにあるか？

その5 (夢窓疎石と清白寺との関わり) 清白寺は誰がだれを招いて建てられたのか？また、清白寺と浄居寺、鎌倉のある寺との関わりについてわかることは何か？

その6 (禅宗様式の仏殿) 禅宗様式の仏殿は、どこにあるか。また、教科書や資料集で同じ形式の建物が何か探そう。

その7 (夢窓国師の京都での活躍) 夢窓国師が京都などの当時の社会の中心で活躍していたことは、どのようなことからわかるか？

--

その8 (夢窓国師のまとめ)・夢窓国師が当時の社会の中でどのような業績をのこした人物なのか、今日の授業を振り返りながら書いてください。

(授業のまとめ) 授業の中で学んだことや発見したこと、感想や反省などを書いてください。

--

今日の学習の評価

		自己評価	担当評価
関心意欲	意欲的に学んだか。授業のまとめ	/ 6	/ 6
思考判断	その2、3	/ 6	/ 6
技能表現	その1、4、5、6、7	/ 15	/ 15
知識理解	その8	/ 3	/ 3